

ご近所の お医者さん

□
701
□

東香里病院長 三上聡司さん 一枚方市

受けてみませんか「がん検診」

厚生労働省が発表している2023年の死因順位は1位・悪性新生物、2位・心疾患、3位・老衰でしたが、悪性新生物の死因第1位は40年以上変わっていません。悪性新生物の部位別に見てみると、性差が大きい乳がんや前立腺がんを除けば肺がん、大腸がん、胃がんが上位を占めます。こういった背景から厚生労働省は国民の健康を守るために「がん検診」の推進を図っているわけですが、皆さんは「がん検診」を受け

ておられますか。最近、高齢者の初診で進行した悪性新生物を目にすることが多くなってきました。新型コロナウイルスの感染拡大による受診控えの影響もあると思われませんが、加えて「がん検診」を受け

初期症状 自覚しづらい

んの初期症状は軽い局所の炎症であることが

ていない方も多数いらっしゃいます。受けていない理由に高血圧症などで通院している診療所で定期検査をしているから不要と考えている方が多いです。しかし、症状などで疑いのある病気以外についての検査は、人間ドックや検診・健診でしかできないことを知っておいてほしいと思います。

多く、風邪薬や胃薬でも症状が消失してしまいます。薬が効かなくなってきたら検査をして、対処できないほどに行していることもあるのです。

大阪府民の健康を守る制度の一つとして「がん検診」があります。「調子が悪くなってから病院に行けばいい」とか「自分は健康だから」という考えは持たず、積極的に「がん検診」の制度を利用してほしいと思います。



逆「喉の違和感」や「胃のむかつき」といった軽い症状で薬をもらおうと近くの医療機関に受診されたことは